

■ 令和6年度 第9回 秋葉区自治協議会

日時：令和7年2月25日（火）午後1時30分

会場：小須戸地区ふれあい会館

1 開会

（中島会長）

皆さん、こんにちは。ご苦労さまでございます。今お手元に本当に千代紙で折られたかわいらしいひな人形、そしてお花でしょうか、置かれております。これお持ち帰りいただけるということで、ほっこりと心が温くなるプレゼント、誠にありがとうございます。

2 山の手コミュニティ協議会あいさつ

（中島会長）

それでは、本日はこの小須戸地区ふれあい会館を会場としておりますので、山の手コミュニティ協議会の横山会長様よりご挨拶をいただきたいと思います。

横山会長、よろしくお願いいたします。

（山の手地域コミュニティ協議会：横山会長）皆さん、こんにちは。ただいまご紹介いただきました、山の手コミュニティ協議会の会長の横山義男です。

当協議会は、このふれあい会館とこの後ろにある野球場、そしてテニスコートの指定管理業務を行っております。まずもって、当ふれあい会館をご利用いただきまして誠にありがとうございます。

せっかくの機会ですので、山の手コミュニティ協議会の活動の一端をお話をし、ご紹介し、ご挨拶とさせていただきます。当コミュニティ協議会が力を入れている取組の一つが山の手ふれあいまつりです。災害等有事の際に、自治会の枠を超えて協力し合える地域の絆を目指しまして、毎年取り組んでいるお祭りです。初年度は450名程度でしたが、最近の来場は2,000名近くの来場で、今年で18回目となります。災害時、地域の絆が生かせるように、当日の準備や運営は自治会を含め、この矢代田小学校のPTA、そして中学生ボランティア等、延べ100名を超える皆さんの力でステージイベント、飲食ブース、多彩なメニューで、祭りの最後には打ち上げ花火をこの目の前の矢代田小学校の脇から5分間にわたって100発仕掛けを打ち上げます。今年の開催は、9月20日の土曜日の午後からです。予定では、6時30分頃に暗くなるということで花火を打ち上げる予定です。ぜひ皆さんのご来場をお待ちしております。この防災をテーマにしました山の手ふ

れあいまつりが評価されまして、平成24年にあしたの新潟県を創る運動協会より新潟県自治活動賞をいただきました。

2つ目に、私どもが力を入れている取組に、毎年5月に保育園児、小中学生の生徒、そして地域のボランティアを含め、総勢150名以上で矢代田駅の周辺の花植え、環境美化活動を15年間続けてきています。令和5年の10月14日の鉄道記念日に、長年にわたり矢代田駅の美化に多大な尽力をされたということで、JR東日本新潟支社長より感謝状を頂きました。この賞は、JR新潟支社管内で当コミ協だけで、本社表彰へとつながる賞だそうです。

最後に、どうしてもお話をしなければならない取組に、秋葉区11コミ協が取り組んでいる未来ビジョンと地域総がかりでこどもたちを育てるコミュニティ・スクールです。こどもたちが参加する行事を通じて、若い人がボランティアとして手伝う中で、地域が変わるんだという実感とまちづくりの楽しさがあれば、若い人は継続して参加をしてくれます。当コミュニティ協議会も、ふれあいまつりも3年前からコミュニティ・スクールの一環としてこどもを真ん中にしたことにより、祭りの準備が自治会の同意依存からボランティアに変わってきております。また、2月20日に秋葉区文化会館で開催されました未来ビジョンの発表の中でも、各コミ協で間違いなく中高生を含む若い人が参加するまちづくりの芽が出始めています。この事業は、自治協第1部会の担当ですが、部会としては私は任務が重過ぎると思います。私も自治協の委員をやったときに経験をしましたが、自治協の委員が替われば部会も新しい委員に替わり、部会事業の継続性が担保されませんでした。未来ビジョンの事業は、自治協議会全体で責任を持つ体制と11のコミ協が安定して毎年活動できるように、5年後、10年後を見据えた事業であればあるほど、最低でも5年ぐらいの活動を保障する予算も継続性を担保した予算措置のご検討をぜひお願いしたいと思います。

本日の自治協議会が自治協、そしてコミ協、区役所の3本の矢となって、秋葉区のまちづくりが力強いスタートとなることをご祈念申し上げ、ご挨拶といたします。テーブルの折り紙は、ささやかなおもてなしですが、福祉部の皆さんが折ってくださいました。入り口のテーブルのところにもまだたくさんありますので、お帰りの際ぜひお土産でお持ちいただければありがたいです。

以上です。今日は本当にお疲れさまです。終わります。

(中島会長)

横山会長、誠にありがとうございます。お話の中にありました、去年9月のたしか14日だったと思うんですが、山の手ふれあいまつりです。私も参加させていただきました。長

年新潟に暮らしておりますけれども、とても感動したことが1つあります。それは何かというと、小学生がまさに祭りの主役、主体になって、来場者をもてなしたということです。あれは小学校6年生、たしか実行委員長は誰だったっけ。そうでした。村上さんが実行委員長でしたよね。とにかく暑かったんですけども、小学生が本当におもてなしで、ステージの出演もあったんですけども、各アトラクションブース、イベントブースでナビゲートしてくださるんです。この姿に私感動しまして、まさに学校と地域が、そしてまた民間の企業が一体になってつくり出した、まさにこども真ん中の催しだなということで、いたく感心をいたしました。

また、防災にも大変力を入れておりまして、そのとき私たしか防災スタンプラリーかな、そちらのほうにも参加をしたんですけども、この景品も子供たちが手作りのキーホルダーだったということで、本当に細部に至るまで子供の自主性といいましょうか、創造性といいますか、そうしたものが生かされたすばらしいイベントだったと思います。心より敬意を表します。

あと、最後に横山会長からコミュニティ未来ビジョンにつきまして貴重なご提案、またご助言を賜りましたので、しっかりと私どもも受け止めて、来年度さらに充実させる方向で取り組んでまいりたいと思います。

横山会長、ありがとうございました。

3 委員あいさつ（第1部会 吉川委員）

（中島会長）

それでは、続きまして委員挨拶を第1部会の吉川委員からお願いいたします。

（吉川委員）

皆さん、こんにちは。今日のご苦労さまです。第1部会の吉川です。よろしくお願いします。

私が自治協に参加は令和5年4月の1日付で、任期2年、今年3月31日で任期満了になります。これまでの活動なんですけど、私もあんまり知識不足で、秋葉区の魅力あるまちづくりを目指して、それからもう既に実行しておりますが、学生による企画で居場所づくり、これは私もちょっと会議出席させていただきました。それから、秋葉山周辺の整備やマップ作り、私はこの秋葉山の麓でもないんですけど、近くに生まれた人間なんで、昔の古い井戸とか、そういうのも山の中駆けずり回りました。それから、もう一点、安心、安全を目指しての防災について、これ金津の青木さんが何か仕切られて、講演会を開催されたということ、ここにはちょっと参加できませんでしたが、これからも住みよい

まちづくりを目標に、区民には知識豊かな人が多いと思います。これからも情報を求めて呼びかけていただければと思います。

この席をちょっと借りて申し訳ないですけど、実はわたしは秋葉区民生委員・児童委員連絡協議会からの参加になっています。それで、私もこの民生委員を受けて、今年で15年になります。それで、今年は3年に1回の委員の一斉改選が入っています。これも、11月の30日に向けて、この3月から準備が始まります。これ新潟市全体の事業になります。それで、今月の2日に発行された秋葉区役所だよりですか、この中で民生委員の仕事内容、それから協力依頼の紹介があります。これは、これから改選に向けて民生委員の活動を継続する方、それから退任される方の意向確認がこれから始まります。それから、人材の確保が難しい中での担い手探しに自治会、それから町内会会長に協力依頼を求めて、退任者と共に適任者宅へ訪問という形になります。ちょっと強引な訪問になりますが、これはあくまでも欠員をつくらないという下で動いています。おそらく欠員がでると、その欠員の地区の人にもつらいはずです。年寄りが増えているので、それを見るというのがやっぱり難儀なんです。そういう内容ですので、できれば素直に受けていただければなと思っています。実際11月の30日にならないとその結果が今のところ分かりません。私も分からないです。こんな内容です。

それから最後に、私の後任ということで、もう名簿の中へ入っていますが、新津第三小学校区の西部地区の委員の神田朋美さんが私の後を担当されるということで、長い間というか、もう来月で終わりますけど、どうもありがとうございました。

(中島会長)

ありがとうございました。

4 議事

(1) 次期秋葉区生活交通改善プランについて（意見聴取）

(中島会長)

それでは、次第に基づきまして進めさせていただきます。

次第の4、議事1、「次期秋葉区生活交通改善プランについて」につきまして、高橋副区長よりご説明をお願いいたします。

(副区長)

高橋です。着座のまま失礼いたします。

まず、事前に送付をさせていただきました資料の1を御覧いただきたいと思います。秋葉区生活交通改善プランについてです。このプランは、秋葉区の持続可能な生活交通

の実現を目指し策定しているものです。現行プランの計画期間が令和7年の3月末で終了することに伴いまして、第2部会の皆様からいただいた様々なご意見を基に、現行プランの評価や秋葉区の現状、課題の洗い出しなど、改定作業を進めてまいりました。その後、秋葉区公共交通検討会議を開催し、関係機関からもご意見をいただきまして、次期プランの案を作成いたしました。そこで、自治協議会全体協議会の場で意見聴取をさせていただくものです。

資料の13ページを御覧ください。こちらに第4章、秋葉区における今後の課題というページでございしますが、改定プランでは秋葉区の現状やこれまでの取組を評価した上で、今後取り組むべき課題を3つに整理をいたしました。1つ目は、公共交通空白地域における移動手段の確保と持続可能性、2つ目は公共交通ネットワークの利便性と最適化、3つ目は地域全体で公共交通を支える協働体制の構築です。これらの課題に対し、ページめくっていただきますと14ページになりますけれども、こちらに記載されている、上に囲んでありますけれども、誰もが安心して移動できる、持続可能で便利な公共交通ネットワークを構築し、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるまちの実現、これを秋葉区が目指す公共交通の将来像として、その下に示されている3つの基本方針、さらに15ページに記載されている7つの具体的な交通施策を通じて課題解決に向けて取り組んでまいります。詳細については、資料をご確認いただきたいと思います。

なお、事業の実施に当たりましては、第2部会の皆様から引き続きご協力をいただきますようお願い申し上げます。

説明は、簡単ですが以上となります。よろしくお願いいたします。

(中島会長)

高橋副区長、ありがとうございます。

次期秋葉区生活交通改善プランですね。ただいまのご説明につきまして、質問等、またご意見等、コメント等ございましたらお願いいたします。ございますか。

では、私からひとついいでしょうか。これは、質問というよりコメントになりますが、私もこの秋葉区の生活交通、公共交通事業につきましては大変関心を持っております。この14ページの第5章、秋葉区が目指す公共交通将来像、1つ目に地域のニーズに寄り添って多様な移動手段を確保する。持続可能な運行体制を構築するとあって、この部分では結構ボランティアの活用が強調されているんです。ボランティアの活用です。

それでは、具体的にこのボランティアの活用をどうイメージすればいいのかということで、ちょっと私ごとですけれども、私の受け持つ大学の授業の中で学生と一緒に見附市に訪問調査を行ったことがあるんです。公共交通事業、公共交通政策、新潟30市町村あ

る中で最も優れた取組をなしている自治体でございます。SDGs未来都市、新潟市と同様なんですが、またスマートウェルネスシティ宣言をしております、国土交通省から表彰される、そんな突出した取組をなしている見附市に行ったことがあるんです。見附市は、公共交通人口のカバー率がほぼ100%です。誰一人取り残さない、これを実現しているんです。一番見附市で有名なのがコミュニティバスです。あそこは越後交通が乗り入れているんですが、越後交通が廃線になった区間を全て見附市のコミュニティバスがカバーしておるんです。一律料金は100円です。たしか高齢者は無料だったかな。パスがついていたと思います。高齢者パス、シニアパスがあったかと思います。子育て、18歳未満のお子様のいる親御さんはたしか半額、つまり50円で乗れます。子供は30円で乗れるんです。コンパクトシティということで、コミュニティバスが大変充実しています。

実は、私が注目したのはむしろそこよりも、対コミュニティ協議会といいますか、コミュニティ組織に対するアプローチだったんです。何をやっているかという、見附市人口4万人で秋葉区と同様、各小学校区に11のコミュニティ組織があります。いわゆるコミュニティ協議会と同じような組織が11あるんですが、何をやっているかという、コミュニティワゴン、ハイエース、あれを無料貸出ししているんです、各コミュニティに。これがすごいなと思ったのは、自由に使ってください、1年間手続をすれば貸し出しますと。そこにかかる車検費であるとか、整備費であるとか、保険のお金は全て見附市が負担しますという仕組みになっています。私驚いたんですが、ガソリン代がかかりますよね。今ガソリン本当高いんですが、じゃガソリン代は各コミュニティが出しているのかというそうではなくて、ガソリン代も市が出しているんです。これってすごいと思いませんか。コミュニティワゴンの貸出サービス。運転手だけ各コミュニティ組織から出して運転すると。

どういったときに使われるかという、例えば学生の送迎、あと六斎市が開かれるんですが、そのときに出すんです、そのワゴンバスを。そうすると、日頃家に閉じ籠もり、ひきこもりのご高齢の方がまちに出る、地域に参加する、活動人口、交流人口の増加につながっている。まさにこれが健康人口の増加につながってくるという施策に取り組んでいるんです。運転手だけを出すということで、特に見附は豪雪地ですので、冬の期間の学生の送迎や、あとまた定期市への送迎とかいったところすごく役立っているといったようなことで、要するに公共交通機関の整備というのは地域の活性化につながるということなんです。健康寿命の増につながるということでもあります。

同じSDGs未来都市です、新潟市と同様、見附市。見附市にできて、新潟市にできな

いことはないというふうに私考えておりますので、ぜひそうしたことでこの秋葉区も本当に課題を多く抱えていると思います。あと、見附市は自転車のシェアサイクルのサービスがあります。新津にも一応あるのかな、シェアサイクル。あれなんて本当に古津の駅前に置けばいいのになんて思ったりもするんですが、そうしたサービスも非常に充実して、実に多面的、多角的なアプローチと方法でもって公共交通といったものを実効性あるものに実施しているというのが見附市の現状でございます。すみません。補足コメントでございました。

よろしいでしょうか、皆さんのほうで。

それでは、しばらくにしてございませんで、これで1、「次期秋葉区生活交通改善プランについて」を終わります。

（２）第２回秋葉区自治協議会委員推薦会議について

（中島会長）

それでは続きまして、2、「第２回秋葉区自治協議会委員推薦会議について」、小山座長より報告、説明をお願いいたします。

（小山委員）

秋葉区自治協議会委員の推薦会議の座長を務めております小山です。着座のままご報告をさせていただきます。

資料2を御覧ください。第10期委員改選に当たりまして、自治協議会委員の推薦案と公募委員の選考について、2月20日に推薦会議を実施いたしましたので、その結果をご報告させていただきます。

まず、1号委員には各地域のコミュニティ協議会から11名の推薦をいただきました。2号委員につきましては、各公共団体から8名の推薦をいただきました。これで1号委員と2号委員を合わせて19名となります。3号委員につきましては、区長が認めた11名となり、その中の公募委員については7名の応募がございました。作文や活動歴などを基に、方向性が明確であり、建設的な視点を持ち、積極的に活動する姿勢があるかを厳正に選考いたしました結果、記載の4名の方が選ばれました。また、有識者、公募委員以外のその他の方については2名の辞退がありましたので、区長より推薦をいただきました秋葉移住コンシェルジュと小須戸商工会からそれぞれ1名ずつ新たに加わることとなりました。30名のうち女性は12名で、女性の割合は40%となります。資料に記載されている30名を第10期秋葉区自治協議会委員として推薦し、本会議でお諮りいただきたいと思います。

(中島会長)

小山座長、ありがとうございました。

ただいまのご説明につきまして、委員の皆様からご意見、またご質問等ございましたらお願いいたします。いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、しばらくにしてございませので、ただいまご提案のとおり、第10期秋葉区自治協議会委員の候補者を決定したいと思いますのですが、よろしいでしょうか。

(拍手)

(中島会長)

ありがとうございます。それでは、この名簿の案に決定いたします。

それでは、これで2、「第2回秋葉区自治協議会委員推薦会議について」を終わります。

5 報告

(1)

(中島会長)

それでは、続きまして次第の5、報告に移ります。

「令和7年度まちづくりパートナーシップ事業について」、高橋副区長よりご説明をお願いいたします。

(副区長)

再び高橋のほうからご説明をさせていただきます。

資料3を御覧いただきたいと思います。A4縦1枚物でカラーのもので、「令和7年度まちづくりパートナーシップ事業」とタイトルのついているものです。この事業は、令和5年度から始まりまして、来年度で3年目を迎えるものです。行政課題の解決を目指して、区役所が設定したテーマに基づき事業提案を募集し、選定された取組に補助金を交付して支援を行うものです。なお、7年度の補助金額につきましては、これまでと変わらず、3年間で総額300万円というふうになっております。

これまでのテーマにつきましては、令和5年度は「移住定住の促進」、令和6年度は「関係人口の拡大・創出」としており、令和7年度のテーマは「こども真ん中の秋葉区づくり」です。このテーマに基づきまして、4月から6月末まで事業提案を募集する予定となっております。新年度、秋葉区役所では移動式こどもの居場所づくりを新たに実施予定のほか、自治協議会でも提案ありましたこども真ん中プロジェクトを実施予定のため、民間団体にもこども真ん中の秋葉区づくりに取り組んでいただきたいと思いますと考えております。区役所、自治協議会、民間団体が連携し、こどもを中心としたまちづくりを進めるた

めに今回のテーマを「こども真ん中の秋葉区づくり」としました。

以上、簡単ではございますが、令和7年度のまちづくりパートナーシップ事業についてご報告させていただきました。

(中島会長)

高橋副区長、ありがとうございます。

令和7年度まちづくりパートナーシップ事業、テーマが「こども真ん中の秋葉区づくり」ということでございまして、補助期間が連続する3年度以内、そして補助率が100%、補助の上限が3年度で300万円、ただし単年度の上限額は200万円ということでご案内がございました。

こちらにつきまして、ご質問、またご意見等ございますでしょうか。よろしいでしょうか。

しばらくにしてございませぬので、「令和7年度まちづくりパートナーシップ事業について」、これ報告でございます、を終わります。

6 その他

(中島会長)

それでは次に、次第の6に移ります。その他でございます。

まず、各部会から活動報告をお願いいたします。

では、まず第1部会、加納部会長、お願いいたします。

(加納委員)

第1部会の加納です。着座にてご案内させていただきます。

きらめきサポートプロジェクトにつきましては、採択されました3つの事業を滞りなく終了しておりまして、来月3月25日の発表を待つのみとなっております。

それと、2月8日、秋葉区感謝の集いにおきましては、今皆さんのところで一生懸命やったださっております未来ビジョン事業のうち、3事業についての発表をさせていただきました。これにつきましても、来月取り組んでいただいている全コミ協さんのほうから発表というふうな形の予定もしておりますので、いろいろな楽しい催し等もございますので、ご期待いただければと思っております。

それと、最後になりますが、1回目の秋葉若人塾、こちらにつきましては7月に大変盛況でございまして、もう一度、2回目も年度内に計画されておりまして、お手元にチラシのほうをお届けしてありますけれども、3月14日、新津地域交流センターにおきまして若人塾開催予定になっておりますので、委員の皆さん、区役所の皆さん、中高校生、大学生の

お子さん、ご親戚等をお持ちでいらっしゃる方、お声がけいただければ幸いにございますので、よろしくお願いいたします。

以上です。

(中島会長)

加納部会長、ありがとうございました。

続きまして、第2部会の青木部会長、よろしくお願いいたします。

(青木委員)

第2部会の青木と申します。よろしくお願いいたします。第2部会で行いました、1月に公共交通の関係の会議2回行いました。それについてお話ししたいと思います。

まず、最初でございます。先ほど副区長からお話ありました会議でございます、1月の15日、秋葉区役所におきまして国交省、警察、運行业者、市役所、自治協委員など6つの機関、15名の方が参加いたしまして、令和6年度第1回目、秋葉区地域交通検討会議、これを開催いたしまして、秋葉区生活交通改善プラン、この見直しをいたしました。これが最初の会議でございます。

続いての会議でございますけれども、1月29日、同じく区役所におきまして本庁の都市交通政策課の職員、それと自治協委員、それから路線バスを運行しているさくら交通さん、泉観光さん、これらの方からおいでいただきまして、秋葉区の公共交通に関する要望、検討の会議を持ちました。その結果、運行业者から裏話とか本音、いろいろふだん聞けないようなお話聞けましたので、非常に有意義な会議になりまして、これらを今後の活動に生かしていきたいと、そんなふうに考えております。

以上でございます。

(中島会長)

青木部会長、ありがとうございました。

それでは、続きまして第3部会を佐々木部会長、よろしくお願いいたします。

(佐々木委員)

着座にて失礼いたします。

1月26日、にいがた秋葉っ子ふゆまつりのステージイベントにおいて、1時間もち麦フェスタを開催いたしました。もち麦フェスタにおいては、今回初めてAIによる物語をつくるということに挑戦させていただきまして、当日はスクリーンと、そして紙芝居という2つを用いまして、こどもたち、そして親子の皆さんにアピールすることができました。委員のほうからは、このままではちょっともったいないということで、今後もこれを活用して小学校や保育園に持っていったらというような意見が出ております。そし

て、来年もぜひやりたいというような意見も出ておりました。

また、こどもの居場所についてのアンケートを皆さんにお答えいただきまして、誠にありがとうございました。居場所につきましては、地域の皆さんでそれぞれいろんなニーズがあるということで、今アンケートをちょっと集計したりしているところなんですけれども、1つ目の拠点は家庭、そして学校、3つ目の拠点としてこの地域の居場所というものができたらいいなというものが今3部会の中で話し合いを持たれているところです。今後もまた生かしていければというふうに思っております。

以上です。

(中島会長)

佐々木部会長、ありがとうございました。

それでは、広報部会を森田部会長、お願いいたします。

(森田委員)

広報部長の森田でございます。ご苦労さまです。

広報部では、紙のかわら版36号について、会長、各部会長から原稿をいただきまして、今校正中でございます。4コマ漫画についての題材としては、卒業式と、それから家庭、家族の防災会議ということで特集する予定でございます。

ラジオ版「あきはくはつものがたり」につきましては、2月につきましては3部会の事業でありましたもち麦フェスタ、当日会長をはじめライブ感があつた収録ではなかったかなと思います。今日来ておりませんが、3部会の田中さん、古川さん、ご苦労さまでした。3月につきましては、各未来ビジョンの荻川コミ協、中央コミ協、阿賀浦コミ協の代表の方に、収録をお願いしたいなと思います。よろしくお願いします。

コミュニティFMの活用のPRでございます。ひな祭り、ひな・お宝めぐりに関しては、板井委員、それから村上委員、大変ご苦労さまでした。3月のFMラジオの「あきはくはつものがたり」につきましても、3月12日水曜日午後零時から、3月15日土曜日午後9時から再放送ということで、皆様にまた聞いていただきたいなと思います。

以上です。

(中島会長)

森田部会長、ありがとうございました。

続きまして、ひな・お宝めぐり部会、大貫会長、お願いします。

(大貫委員)

座ったままで報告させていただきます。

ただいまひな・お宝めぐり好評開催中ということで、いろんな会場でつるし飾りが飾

られています。皆さんお気づきになった方もいらっしゃると思いますが、2月14日の新潟日報にも大きく新津交流センターの記事が掲載されておりました。それに併せて、飾りつけのときに、1月31日に実施しましたが、その際昨年の夏、堀出神社でちょうちんをいっぱい飾ったイベントがあったんですけども、これは第1部会で行ったイベントなんです、そのときにご一緒した青年会議所の方からつるし飾りをつるすお手伝いをしていただきました。本当にありがとうございました。若月さん、ありがとうございました。

いろんな方とつながって、この事業も今年度で自治協議会としては最後となりますが、幾つかのコミ協さんからは自治協の手が離れても私たちはやるよといううれしい声もいただいております。先ほどここの山の手コミ協の横山会長からご挨拶の中でお話がありましたように、この皆さんのテーブルの上に飾ってあるのは、山の手コミ協の福祉部会の方が、男性も含めてなんですけども、一緒に作ったときに、ここで自治協の本会議が開催されるということを見込んで皆様にお届けしたいということで作っていただきました。ありがとうございました。そして、この事業も今年最後ですが、本当にいろんな形でどこかで着地したいと思いますので、そのときは皆さんご協力のほうをよろしく願いいたします。

私からは以上です。

(中島会長)

本当に長い間ありがとうございました。

各部会からの報告は以上となります。ただいまの件について、ご質問等ございますでしょうか。よろしいでしょうか。

しばらくにしてごさいませんので、本日鉄道資料館の加藤副館長がお越しになっております。ご案内があるとのことでごさいます。

加藤副館長、よろしくお願いいたします。

(加藤新津鉄道資料館副館長)

歴史文化課、新津鉄道資料館の副館長の加藤と申します。よろしくお願いいたします。それでは、お配りしておりますA4判の資料、新潟市新津鉄道資料館の電車運転シミュレーター更新を御覧ください。ここから先は、着座にてご説明させていただきます。

新津鉄道資料館では、電車運転シミュレーターを地元の路線で運転体験ができるものに更新いたします。従来の電車運転シミュレーターは、中央線快速での運転を体験するものでしたが、新しいものでは新潟市を中心とする5路線、信越本線、磐越西線、羽越本線、越後線、白新線に変わります。そして、ハンドル部分に実物と同様の部品を使うこと

で、本物に限りなく近い操作感を味わえるものになります。この新しいシミュレーターが使えるのは、3月26日水曜日からです。今までは無料でしたが、新しいものは1回100円をいただきます。お金を入れていただきますと、運転体験をする路線と区間が選べます。区間の長さにもよりますが、ほとんどの区間で発車と停車の操作をそれぞれ2回ずつ体験することができます。お金を入れてから終わるまで、平均で10分程度となります。土日、祝日など館内が混み合う日は、選択できる路線と区間を制限させていただくことで、なるべく多くのお客様にご利用いただけるようにしていく予定でございます。

この新しいシミュレーターの導入により、地元新潟を走った展示中の実物車両に加え、鉄道のまち新津でしか体験できない展示が増えることとなります。秋葉区の魅力の一つとしてぜひご紹介いただくとともに、ご来館、ご利用いただければ幸いです。

以上、ご案内でした。

(中島会長)

副館長、ありがとうございました。3月26日から新しい鉄道シミュレータースタートいたします。私も、3月25日の内覧会でちょっとさせてもらおうと思っております。楽しみにしております。

あと、公民館の森山館長、ご案内がございますでしょうか。

(森山新津地区公民館館長)

お疲れさまでございます。新津地区公民館館長の森山と申します。配付させていただきましたチラシ、「気づこう！無意識の思い込み」についてひとつ宣伝をさせてください。

アンコンシャスバイアスという言葉の皆様お聞きになられたことはありますでしょうか。私たちは、何かを見たり、聞いたり、感じたりするときに、無意識にこうだと思い込むことがあるかと思います。これをアンコンシャスバイアスといいます。日本語では、無意識の思い込みなどとも表現されているところですが、ではどんなことがあるかという、血液型を聞くととっさにきつとこんな性格だと思う、介護をしていると聞くと親の介護を思い浮かべる、親が単身赴任中と聞くと父親を思い浮かべる、私には無理ととっさに思うことがある。アンコンシャスバイアスというのは、過去の経験や見聞きしたことなどに影響を受けています。アンコンシャスバイアスは日常にあふれていて、誰にでもあり得るものです。では、気づかずにいると何が問題となるのでしょうか。このように、アンコンシャスバイアスに気づかずにいると相手を傷つけたり、自分の可能性を狭めたりすることがあるため注意が必要です。これまでの自分にとっての当たり前や普通というのは、これからやほかの人にとっては違うかもしれません。

と前置きが長くなりましたが、そういったのを踏まえまして、今回「気づこう！無意識

の思い込み（アンコンシャスバイアス）～すぐ活かせる！こどもの可能性を広げるヒント～」という講座を開くことにいたしました。日にちは、3月8日土曜日午後1時半からです。講師はアンコンシャスバイアス認定トレーナーの宮本美穂さん、会場は新津地区公民館、新津地域学園でございますが、の研修室で行います。対象は小学生の保護者とありますが、または関心のある方、どなたでも参加できます。参加費は、無料となっております。2月21日までの締切りとしておりましたが、この3月8日というのが恐らく日がいいのか、アルビのホーム戦があったり、なかなか日がよくて、参加者が集まっていないという状況がございまして、改めてこの場でもご案内させていただきました。2次元コードを読み取る、または公民館のほうに直接ご連絡いただいても構いませんので、関心をお持ちの方がいらっしゃいましたらぜひこの機会にご参加いただければ幸いです。

以上です。ありがとうございました。

（中島会長）

森山館長、ありがとうございました。3月8日の講座のご案内でございました。私は、大変思い込みの激しい人間で、しくじることが多いので、興味を持っております。ぜひ参加したいなと思っております。

承っておりますのは以上ですが、ほかの委員の皆様、また事務局のほうで何かございますでしょうか。

じゃ、青木委員、お願いします。

（青木委員）

第2部会の青木でございます。貴重な時間をお借りいたしまして、連絡1点、お願い1点したいと思います。

まず、連絡でございます。皆さん、お手元に配付してございます犯罪の発生状況でございます。これにつきまして、簡単に概略説明したいと思います。これは、2月の14日、新潟市役所6階で行われました新潟市犯罪のない安心・安全なまちづくり推進会議、この会議において説明、配付された資料でございまして、まず1つ目が新潟県及び新潟市の犯罪の発生の状況、これは昨年の12月末現在の数字でございます。新潟県では、合計が9,421件の発生でございます。前年比でプラスの749件。じゃ、新潟市はと言われますと、おおむね約半数、4,147件、前年比プラスの168件でございます。新潟市の数で4,147件の犯罪の内訳、殺人、強盗、放火など凶悪犯が29件、それから暴行、傷害等の粗暴犯、これが372件でございます。それから、窃盗犯、万引き、泥棒、これが2,843件、それから詐欺などの知能犯が293件、それから風俗犯が109件、その他が501件となっております。

じゃ、秋葉区はどうかと言われますと、秋葉区の犯罪件数は237件で前年比13件のプラスでございます。これは、新潟市内8区のうち6番目でございます、特に窃盗や泥棒が127件、圧倒的に多いです。この中で侵入、いわゆるうちに入る、人の屋敷に入る、これについて約半数が無施錠、鍵をかけ忘れた、そういうところへ入っておりますので、きちんと鍵をかければかなり防げるのか、そんなふうに思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。

それから、特殊詐欺の関係でございます。これは、件数は去年、今年変わらず5件でございます、ただ被害の金額が今年は777万、対前年比で530万減っております。一番多いのがオレオレ詐欺、これが3件で446万、そうなっておりますので、特に特殊詐欺につきましては家族の中で話しするのが一番犯罪を防ぐよい方法でございます。そんな関係で、家族の中で連携を密にしていなければかなり防げるかと思ひますので、よろしくお願ひいたします。

続きまして、これは半分私ごとで恐縮なお願ひなんですけど、というのは、本当は先月、1月の会議のときにお話ししたかったんですけども、先月会議が中止ということではなかったんで、ちょっと時期遅くなりましたけど、今日貴重な時間をお借りしてちょっと話しさせていただきたいと思ひます。内容は何かといいますと、スーパーの原信、このレジの人が責任感がある、心温まる対応をしてくれたと、そんな関係で私は去年の年末から今年の正月、本当にいい年末年始を迎えることができました。それで、このような対応を区役所の職員からもしていただきたいと、こういうお願ひなんです。

もうちょっと詳細に申し上げたいと思ひます。昨年12月の25日、私スーパー原信に正月用の買物に行きました。いろいろ買ったんですけど、その中にしめ縄を買いました。ただ、私いいかげんな人間なものですから、しめ縄の長さを測っていかなかったんです。それで、もし寸法が違っていたら困るなと思ひまして、非常に混んではいたんですけども、レジの方に交換をお願いできますかとお聞きしたんです。そうしましたら、その女性のレジの方が領収書と、そしてこれは袋に入っているんだけど、袋を切らないで今日中に持ってきてくださいと、こう言われました。非常に混んでおりましたんで、私も、はい、分かりましたと帰ったんです。

それで、その後31日の日、また私買物に行きました。本当にそのときは歩くのもやっとぐらい混んでおりました。もちろんレジも長蛇の列でございました。そうしたら、私の番にレジに行きましたら、この前の女性の方が私を見つけまして、この前は大変すみませんでしたと、その日のうちの交換というのは飲食物だけで、しめ縄は急がなくてよかったんですと、大変私の説明が間違ってますみませんでしたと、こういうふうに言っておび

られたんです。私は非常に驚いたというのは、あれだけ長蛇の列の中にいて、私も変わった格好をしたわけじゃないです。黒いコーデ、マスクでお話ししたその程度なんです。たとえその程度のことでよく私のこと見つけて、わびを言ってくれたんです。それで、私後日改めてお聞きしたんです。何で分かったか聞いたら、いや、実は私非常に間違っって悪いことを言ったもので何としてもおわびしたかったということで、いつ来られるかと待っていたんですと。こんなにすばらしい責任感と買物する人の立場に立って対応してくれたと、本当に私うれしかったんで、店長さんに早速お礼言いました。

その関係で、実はこういうことを区の職員からもやっていただきたいと。たしか区の職員、区長以下に何名いるか分かりませんが、結構おられるはずなんです。若い方は、本当に無我夢中という、極端ですけども、全力投球で頑張っておられます。これは、見てもすぐ分かります。すばらしいと思います。ところが、一部の係長の中でどっちへ向いて仕事しているのか分からない人がいるんです。そういう人からぜひ反省してもらいたいということなんです。なぜかという、買物へ行って店員の対応が悪ければ、その店へ行かなければいいんですけれども、秋葉区民であれば秋葉区の区役所の対応が悪いからといって隣の江南区、南区へ行くわけにいかないんです。それを踏まえて、もっと自覚を持って責任ある区民の立場に立った仕事をしていただきたい、こういうお願いでございます。

以上でございます。貴重な時間をありがとうございました。

(中島会長)

青木委員、ありがとうございました。

あと、ほかに皆さんのほうでご発言ございますでしょうか。よろしいでしょうか。

今のことですか。じゃ、お願いします。

(産業振興課長)

すみません。秋葉区産業振興課です。貴重な時間をいただいて、一言説明させていただきたいと思います。座って説明させていただきます。

お配りしております2025年春、秋葉区パンまつりについてでございます。2月16日発行の区役所だよりにも掲載しているところなんですけども、日にちが近づいてまいりましたので、改めてご案内させていただきます。こちら秋葉区産の小麦、ゆきちからといったものを配合したパンを販売するパンまつりなんですけども、令和4年3月に初めて開催して、今回で4回目となります。実施期間は3月1日から31日まで、商品がなくなり次第終了となります。参加店は、記載の8店舗となっております。昨年6店舗でしたので、2店舗増えたということになっております。なお、今年もプレゼント企画をご用意させ

ていただいております。参加店の500円以上のレシート2枚を貼って応募いたしますと秋葉区の特産品が当たります。ふんわりとした風味のよい各店自慢のパンをぜひ楽しみいただきながら、農業、それから商業の振興にご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

以上でございます。

(中島会長)

ありがとうございました。

ほかにもございますでしょうか。

では、渡邊委員、お願いします。

(渡邊委員)

渡邊です。公共交通について情報提供させていただければと思います。

新津健康センター、あとは花の湯館で利用してくださっている、お子様が小さいお母様方がバスで来られたんですけれども、その後に帰りが4時頃までしかないということでした。ですので、躊躇されて、お友達に同乗して乗ってこられたということがありました。ですので、これからお調べになるところかと思いますが、高齢者、子供、若者以外にもどなたが、どの施設を、何のために、どのくらいの時間滞在されてご利用されているのかというところで、行きはよくても帰りはではちょっと躊躇されてしまうので、そこをご検討いただけるとありがたいなと思いますし、CO₂削減ですとか、半径15キロで生きていけるまちとなればなおさら移住者も増えると思いますので、ぜひご検討いただければ幸いです。

以上です。

(中島会長)

ありがとうございます。

ほかいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

なければ、私から1点連絡がございます。先ほど秋葉区自治協議会送別会のご案内を配付させていただきました。回答期限3月5日、会場が榊形屋さんになっております。3月の25日でしょうか。3月の本会議終了後の開催となります。ぜひ万障お繰り合わせの上、ご参加いただければ幸いに存じます。私からは以上です。

あと、最後に事務局から連絡をお願いいたします。